

MRI検査を受けられる患者さまへ

MRIとは？

MRI（核磁気共鳴画像）とは、強い磁石と電波を使って体の内部の状態を検査する方法です。

検査を受ける時の注意

検査室内は常に強い磁場が発生しています。体内にある金属等は影響を受ける可能性があります。該当する方はMRI検査を受けられないことがあります。安全のため、検査をする全ての方に問診させていただきます。

※ペースメーカー等が埋め込まれている方は検査を受けることができません（MRI対応を含む）。また、体内にMRI非対応金属が入っている方、閉所恐怖症の方、妊婦または妊娠の可能性のある方は検査を受けられない場合があります。検査当日までに手術を行った主治医にご確認のうえご来院下さい。

検査前の準備

磁性体を持ち込んだ場合に検査機器の吸着や磁気製品の故障が起こります。服装・宝飾品については壊れて使用できなくなる可能性がありますので、検査室には持ち込めません。検査前に検査スタッフがチェックし、あらかじめ取り外して頂きます。案内致しますので、お荷物をロッカーに預けてください。撮影部位・検査内容により検査着へのお着替えをお願いすることがあります。

検査室内に持ち込めないもの

金属類	時計、メガネ、ライター、ヘアピン、鍵、アクセサリ類、ベルト、スマートフォン、鼻の部分に針金（ワイヤー）が入ったマスクなど
磁気カード	銀行カード、電子マネー、クレジットカードなど
その他	入れ歯、補聴器、カイロ、エレキバン、コルセットなど
化粧品	女性の方は、磁性体を含む可能性のある塗料等を使った口紅やアイシャドー、マスカラは避けていただくようお願いします。場合によっては、化粧を落としていただくことがございますのでご了承ください。
ネイル・まつげ	ネイルアート、マグネットネイル、ジェルネイル、つけまつげ、まつげエクステをしている方は必ず外して来て下さい。爪や皮膚の火傷や変色、焦げ臭いなどの事故が国内で発生しています。
カラーコンタクトレンズ	保管用ケースをご用意ください。（透明タイプであれば検査可能です）
肌着	ワイヤー入り下着、ボディスーツ等、ヒートテック（吸湿発熱素材であるもの）
かつら	ヘアーパウダーも影響がでます

どのように行われるのでしょうか？

MRI検査は狭いトンネルの中に横になって撮影します。なるべく体を動かさないようにご協力ください。また、撮影中は非常に大きな音がします。苦手な方は、耳栓等で対応いたします。検査担当技師がモニタリングをしておりますが、万が一ご気分が悪くなった場合は、緊急用コールボタンでお知らせください。MRIについてご不明な点がございましたら、検査担当スタッフへお尋ねください。

MRI検査問診票

(検査を安全にお受けいただくための質問です。)

氏名

- MRI検査を受けるのは初めてですか？ ☐ はい ☐ いいえ
- 閉所恐怖症 ☐ はい ☐ いいえ
- 痛み・咳・しびれ等で、静止が困難 ☐ はい ☐ いいえ
- 妊娠初期あるいはその可能性がある ☐ はい ☐ いいえ

- ☐ 体内金属（人工物）があります
- ☐ 下記項目にある体内金属（人工物）はありません

該当する箇所にチェックを入れてください。絶対禁忌項目に1つでもチェックがある場合はMRIの検査はできません。

絶対禁忌	☐	心臓ペースメーカー（MRI対応を含めて）、埋め込み式除細動器：ICD
	☐	可変圧式バルブシャント（脳室シャント・V-Pシャント）
	☐	人工内耳や神経刺激装置などの体内電子装置
	☐	脊髄刺激装置、脊椎管内リード線
要注意（主治医による確認が必要）	☐	脳動脈クリップ（クモ膜下出血の手術、MRI対応を含めて）
	☐	消化管出血の止血クリップ、マーキングクリップ
	☐	心臓や血管内の金属類・人工物 （人工心臓弁、ステント、コイル、人工血管、フィルター、リード線など）
	☐	気管や食道、胆管などの金属ステント
	☐	脊椎固定具、人工関節、人工骨頭（整形外科手術）
	☐	体内に外傷による金属片（鉄片や銃弾破片など）
	☐	義歯（入れ歯、インプラント、磁石を利用した義歯）
	☐	歯科矯正器具
	☐	体内置き針
	☐	義眼 義足 義手
	☐	避妊リング
	☐	貼り薬（外すのに医師の指示が必要なもの）
	☐	刺青（タトゥー）
	☐	その他（ ）

上記項目に1つでもチェックがある場合は、検査当日までに手術等を行った主治医の許可を得て下さい

- 主治医による了承を得ている ☐ はい ☐ いいえ